

ハイブリッド授業実現プラン ～Chromebook 導入への4ステップ～

小田原市立三の丸小学校
山崎 克洋

なぜ、ハイブリッド授業をするのか？

ハイブリッド授業とは、ICTを活用しつつ、教師が対面指導と家庭や地域社会と連携した遠隔・オンライン教育とを使いこなすことで協働的な学びを展開することを指す。AI技術が高度に発達する Society5.0 時代にこそ、教師による対面指導や児童や生徒同士による学び合い、地域社会での多様な学習体験の重要性がより一層高まっていくものである。そのため、教師には、ICTを活用しながら、児童生徒の対話的、協働的な学びを実現し、多様な他者と共に問題の発見や解決に挑む資質・能力を育成することが求められる。(令和2年7月2日文科省初等中等分科会資料)

オンライン授業は、
コロナのためだけ
ではない。



Chromebook とは？

Chromebookとは、GoogleのChrome OSを搭載したコンピューターのことである。小田原市では、pc型端末を導入する。Chromebookを導入する際、G suite for educationも導入する。これは、教育機関を対象としたICT教育を推進するツールである。主に、Google関連の様々なアプリを教育現場で活用することができる。



小田原市の現状と今後の校内の方針

小田原市では、9月中に各学校クラス数に応じてChromebookが30台～90台程度配当される予定である。本校は99台を予定。その後、3月末には一人1台のChromebookが配当される。詳しい小田原市としての方針などは、9月1日の研修にてITリーダーに説明がされる。

三の丸小学校としては、コロナ休校第二波を想定するとともに、アフターコロナも見据えてハイブリッド授業を実現す流ためにChromebookの活用を図っていく。

そのための4つのステップが以下の通りである。

- 1 認知期→Googleアプリなどの職員研修をし、職員が使える状態を目指す。
- 2 体験期→Chromebookを児童に体験させる。6年生から優先して実施。
- 3 実践期→Chromebookを活用し、実践の共有をしていく。オンライン授業を実施。
- 4 実現期→Chromebookによる幅広い教育活動、ハイブリッド授業を実現する。

	1 認知期 8月～9月	2 体験期 10月～11月	3 実践期 12月～3月	4 実現期 R3年4月～
活動 内容	<p>◆情報収集（8月上旬） →町田市の実践、教育委員会など</p> <p>◆研修実施（8月下旬） ①Googleアプリ研修実施 ②ICTチームによる先行研究実施 ③Chromebook研修 →9月下旬実施</p> <p>◆Chromebook 99台導入（9月中旬） ※60台前後は家庭用で10月貸与各種設定作業 ◆希望クラスにて先行体験実施（9月下旬） ◆家庭へのICTアンケート再実施 ◆学校保健特別対策事業費補助金（コロナ対策費）による備品購入 →備え付けプロジェクター、マグネット付きホワイトボードなど</p>	<p>◆Chromebook 児童の体験開始 →6つの必修事項</p> <p>①ログインの仕方 ②Google Classroomの使い方 ③Google Meetの使い方 ④写真・動画の撮り方 ⑤インターネットでの検索の仕方 ⑥ログアウトの仕方 ※6年生から優先的に体験 ※ブロックごとに33台ずつ貸与するのを基本とする。 ※可能なら上学年が下学年に教えるべく仕組みを作る。</p> <p>◆10月中に60台家庭に貸与 ☆10月中に全学級の体験を終了する。</p> <p>◆体験の際の問題点をGoogleフォームにて集約</p>	<p>◆Chromebookを積極的に活用し実践を図る。 →校内LINEやシーフォースを通じて実践を共有していく。</p> <p>◆自宅からオンライン授業実施（12月か1月） →学年ごとに日時を設定し実施、もしくは土曜参観の予定日に実施。コロナ第二波などの休校前に体験できるようにする。</p> <p>◆次年度のハイブリッド授業実現に向けての年間カリキュラム作成開始（2月完成予定）</p> <p>◆市内の研究チーム立ち上げ（12月） →市内で実践を共有するグループを教育委員会に正式に認可してもらい立ち上げる。</p>	<p>◆一人1台タブレット端末完全導入 →前年度の実践をさらに改良しながら、実践を蓄積していく。</p> <p>◆オンラインによる実現可能な活動を実施していく。 例) ・オンライン個人面談 ・オンライン不登校支援 ・学校評価、児童アンケート完全オンライン化 ・学期に一回のオンライン授業実施（土曜参観の代わり） ・Googleクラスルームを活用した夏の宿題実施 ・図形描画による図工の作品作成</p> <p>◆校内の実践を市内へ共有していく。</p>

R3年 三の丸流ハイブリッド授業の実現へ